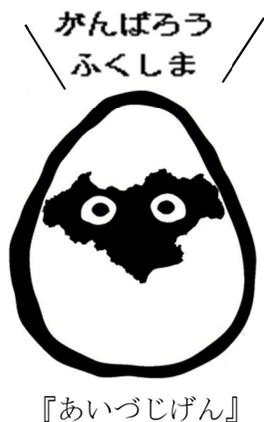


# 復興 会津

福島県は、三月十一日の東日本大震災により、大地震・大津波・原発事故とかつて経験したことのない被害を受けました。

会津地域は、震災による直接的な被害はほとんど無く、放射線量も国の基準を大きく下回っているにもかかわらず、風評被害という目に見えない圧力に苦しんでいます。

観光客が激減、観光バスをほとんど見ることができなく、修学旅行は90%以上がキャンセル、観光産業、物産品をはじめ農産物が壊滅的、危機的な状況に直面しています。しかし、会津人の心はまだまだ元気です。元気な会津・元気な福島を発信し、復興に向けてのきっかけとなれば、そんな思いで「福島県復興キャラバン」の活動を行ってまいります。会津、そして福島県を応援して下さい。



## 原発事故と風評被害

東京電力福島第一原子力発電所から会津美里町まで直線でおよそ100キロ。実に東京駅から富士山の頂上までの距離に値します。会津地域の放射能測定値も低く、会津若松市で平均0.15( $\mu$ Sv/h)、南会津で平均0.06( $\mu$ Sv/h)、喜多方市で平均0.11( $\mu$ Sv/h)など、これらの値は放射能の専門家によれば、自然界の数値とほぼ同じで、土壌の除染も不要とされました。しかし、福島県というだけで商品のキャンセル、契約の打ち切り、価格の値下がりが発生したこともありました。

会津地方では福島県のモニタリング調査に基づく基準で、収穫・出荷をチェックしており、観光に訪れる方にも安全な素材を提供するように努めております。

福島県は会津地方・中通り・浜通りと三つの地方に分かれています。

会津地方は一番西側、新潟県と接した地方です。



僕が住んでいる「会津美里町」も会津地方にあるよ！



## 3月11日 東日本大震災

猪苗代で震度6弱、会津若松市で震度5強、会津美里町でも震度5弱を観測するなど、会津地方でも大きな揺れを観測。一部の道路に亀裂や隆起、土砂崩れの被害があり、建物の一部にも亀裂などが発生しました。しかし、建物の倒壊などはほとんどなく、津波被害がないため、福島県でも震災の被害の少ない地域とされました。

観光施設の内部にも物が倒れたりしたため、一部休館を余儀なくされたところもありましたが、現在ではほとんどのところで復旧に至っています。

宿泊施設も同じく、被害を受けたところもありましたが、影響は少なく、震災直後から多くの宿泊施設で持ち前のホスピタリティで避難者の受け入れを行ってきました。8月20日の現在で概ね9割の避難者が仮設住宅等に移られ、通常の営業に至っています。

